

# 特集 すばらしい愛知圏域の未来を創造する！

## 自給自足その2 【山間地に頼る未来の生活空間】



### ～ すばらしい自然豊かな生活環境 三河山間地 ～

#### ① 空気が濃くて甘い香りがする！

木々が育むマイナスイオンの空気は濃密でおいしい、誰もが胸いっぱい深呼吸をする。

#### ② 心地よい野鳥の歌声・せせらぎの音！

森にこだまする野鳥の歌声、谷川を流れる水の音、大自然が織り成す心地よい音色に心が和む。

#### ③ 足裏に伝わる優しい感触・落ち葉の小道！

分厚く積もった落ち葉の小道は山間地しか味わえない。

#### ④ 山の幸に感謝・感激！

山中の猪、谷川の岩魚や鱒、自分で作った畑の収穫物、これぞ自給自足の醍醐味なのだ。

#### ⑤ 視覚を満足させる山水画の環境が山間地の生活空間なのである！

四季を通じて変化する色彩に目を奪われ心を奪われる。

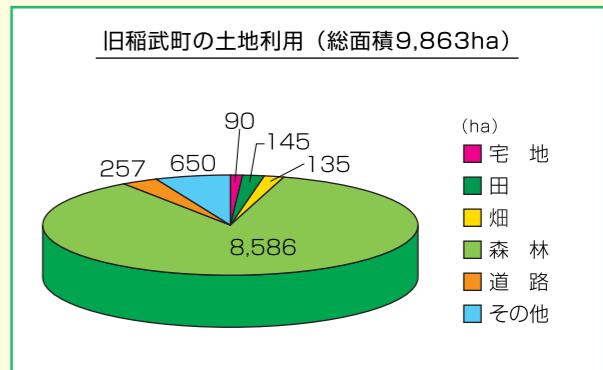
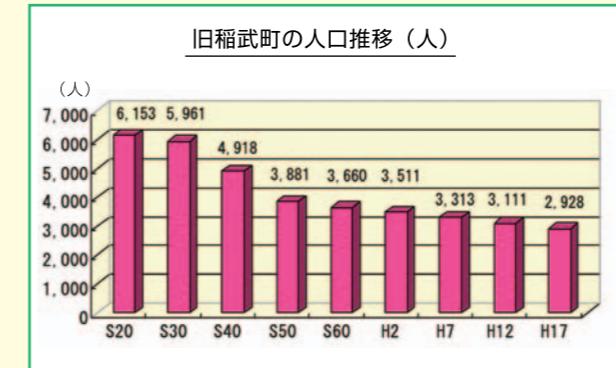
このように嗅覚・聴覚・触覚・味覚・視覚の五感を満足させる環境は、心の豊かさを育む。自然豊かな生活空間を未来の子孫に残したい！これこそ私たちの願望なのである。

さらに、我々が幾度となく警告する津波・高潮・河川洪水氾濫・そして地球温暖化による海面上昇など、低地部の自然災害危険地帯から脱出して高地の山間地まで移動すれば安心である。

### ～ 理想の居住空間「三河山間地の現況」～

#### 1. 山間地は限界集落化が進んでいる（旧稻武町の事例）

長野県・岐阜県との県境に位置する豊田市稻武地区（山間地の代表とも言える）を例に示すと、林業経営の長期不況・通勤の不便性などから人口の減少が激しく、林業の盛んであった昭和20年頃に比べ、稻武の人口は平成17年度時点までに半減したのである。町の中心街区から離れた集落では、限界集落も出現しつつある。稻武町に隣接する設楽町の○○集落では、地元で育った長男は、大阪・東京の会社で定年退職を迎えてから帰郷して実家を継ぐのである。また△△集落では小学校存続の危機に至り、集落全員が子供（新婚家庭）獲得作戦に奮闘し、小学校存続に成功した美談がある。



- 前号（No.14）では世界食料危機に対する備えとして、「半農・半サラ生活」の勧め、1世帯当たり「150m<sup>2</sup>」の家庭菜園を提唱した。
- 都会では一戸建て住宅入手が困難な状況にある。でも、稻武地区においては、豊かな家庭菜園を確保できる。  
(宅地+田・畑)/人口 = (90+145+135)/2,928 = 370 ha/2,928人 = 1,264 m<sup>2</sup>/人

#### 2. 山間地には豊かな大地が広がっている（旧稻武町の事例）

山間地でも平坦な土地は存在する（傾斜地ばかりではないのだ）、自給自足に充分すぎる一人当たり1,264m<sup>2</sup>の土地利用なのである。

#### 3. 山岳部はすべて杉・檜の美林地帯

地球温暖化に二酸化炭素の吸収・大気の浄化に森林は大活躍している。稻武地区は、明治の先人から昭和の時代まで植林活動を盛んに行なった、稻武の山には雑木一本もない杉・檜の人工美林が熟成しているのだ。

##### ● 秘話「稻武の自慢どんぐりの湯」のエピソード

山の町を自慢する稻武であるが、ふと気がついて町の山々を調べて見たそうだ、稻武には「どんぐりの木」が1本もなかったそうだ。町長さんをはじめとする世話役の面々は、「これではいかん、なんとかせねば」として反省をこめて「どんぐりの湯」としたそうだ。

#### 4. 年金生活者ウエルカム

林業の斜陽化で職場が少ない山間地では老人介護施設や医療機関が大切な職場なのだ、年金生活者ウエルカムである。ただし、住民票は変更しないで下さい！介護医療費はあなたが今まで納めていた市町に請求します、山間地の市町に医療費を回さないで下さい！

### ～ 愛知の食肉生産基地「三河山岳牧場」の開設を提案する（牧場経営と林業経営の共存を図る）～

三河山間地のうち、約20万haの山岳部森林原野に牛を放牧し、愛知の食肉生産基地と三河林業の活性化を図ることを提案する。

前号（No.14）で愛知県下の食肉・牛乳などの自給率の現実を報告した。西・東三河地域の森林原野（約20万ha）に牛の放牧を行い、不足する食肉と牛乳の増産を図りたいのである。

すなわち、「畜産と林業の共存」を提唱する。

品目	生産量	需要量	不足量	自給率
	千トン	千トン	千トン	%
食肉	91	316	225	28.8
牛乳	233	686	453	34.0

（農業の動き2009 農業動向編）より引用

北海道旭川の齊藤牧場（牛が拓く牧場）では、農薬や肥料を使用しない自然のままの牧場経営がされている。その規模は、130頭/130ha・搾乳量は300~350トン/年、1頭/1ha・搾乳2.3トン/haの密度で経営されている。

『牛が拓く牧場 いのちの輝き感じるかい』齊藤晶著 地湧社発行

##### ● 愛知県の約20万haの三河地域の山岳森林地帯に牛を放牧できないか？

樹木を伐採せずに樹間を利用した牧場経営を夢みるのである。

##### ● 木材供給基地としての森林機能は永久に保持しつつ牧場経営ができるか？

- 愛知県の食料自給と安全確保のために、約20万頭の牛を飼育供給できないか?  
46万トン/年の搾乳が生産できないか?

三河の山岳地は、急峻な傾斜地で、とても2本足歩行の人間が自由に活動できる土地でない。古来より四足歩行のウサギ・猪・熊・カモシカ・猿などの世界である。牛やヤギなど四足歩行の動物ならば傾斜地でも自由に行動できるのだ。

### ~ 三河山岳牧場と林業の共存構想について談議する ~

- 林業家の誰もがカモシカの放牧は反対する。カモシカは樹木の若芽を好物とするから植林には大敵、檻や厳重な柵で囲う必要がある。カモシカの焼肉レストランを経営した友人が、「もの珍しさや観光は長続きしない」という。愛知県人の安定した蛋白供給はニワトリ・豚・牛肉が主流であろう。
- 牛の放牧はどうか「ヨーロッパの牧場はトラクターが走り回るのに都合よいように樹木を取り除いて草原にしている。提案する三河山岳牧場は、現況の森林に牛を放牧するのである、他人の山に入らないように土地境界を仕切る柵、搾乳する牛舎程度としてはどうか」。
- 猪の肉は大暴落：林業家は誰もが猟師なのだ、最近は人家が少なくなり飼い犬も減った。「おかげで猿や鹿や猪が増えた、猪肉の値段も8千円/kgから4千円/kgと随分値下がりした」と嘆く。
- 足助や下山の渓流では鱒の養殖が盛ん、夏休みには鱒の渓流釣りや鱒料理に大賑わいである。一昔前といつても戦時中はウサギの肉をよく食べた、ウサギの肉ばかり食べると男が生まれない、「あそこの村はウサギばかりいたから女子しか生まれないので」などという流言があった、あの頃はどこの家も鶏を飼育していて、慶事のたびに鶏が潰された。
- 北海道の畜牛牧場を参考に、三河の森林地帯に1haに1頭の牛を放牧してはどうか?  
土地の有効利用(高度利用)を図ることが愛知県の食料安全保障になる。

### ~ 県営の段戸山牧場・茶臼山牧場を畜産基地の核として三河山岳牧場を提案する ~

三河山地の段戸山と茶臼山には下表に示す県営の牧場がある。(愛知県畜産総合センターHP引用)  
この牧場を、核として周辺の三河山地に我々が提唱する三河山岳牧場計画を推進すれば、愛知県の食肉・乳製品の安全は確保できると思われる。いかがでしょう!

牧場名	段戸山牧場	茶臼山高原牧場
位置	岐阜県、長野県境に近い奥三河山間部に位置し、名古屋市から70km岡崎市から55km	長野県境に位置し、段戸山牧場から40km
面積(ha)	161.7	58.6
牧草地(ha)	112.4	29.4
標高(m)	699~921	1,150~1,250
草地傾斜度	15度以上65%	8度以下94%
気温(℃) (平成16年度)	最高 31.0 平均 10.8 最低 -10.5	最高 26.0
施設	育成牛舎(4棟)・隔離治療牛舎(1棟) 敷料庫(2棟)・堆肥舎(1棟)・看視舎(1棟) 事務所(1棟)・会議棟(1棟)・倉庫(5棟)	看視舎(1棟)・農機具庫(1棟) 避難舎(1棟)



段戸山牧場

### ~ 豊かな自然環境を守ろう! ~

「COP10 IN NAGOYA」が2010年に開催されるように、今日では県全面積の42.5%を占める森林原野は生物生活圏の聖域なのである。人間社会にとって多様な生物と共に存する環境が好ましい環境と認知されつつある。

- ① 山の神が言う「今までの愛知県は、山から低湿地帯へ。さらに、干潟を埋め立て、臨海工業地帯を造成してまで海に移動して来た。なぜ再び山に移ろうとしているのか!人間社会の利便性のための開発は禁止だぞ!」
- ② 斜陽産業と言われて久しい林業経営。山間地は過疎化して、限界集落化が進行しつつある。
- ③ 林業経営が斜陽になれば、現金収入がなくなり子育てもできない。若者は都市に移住し残るは老人ばかり、運転免許を返納して町に下りる老人世帯。無人化した山には、猿・鹿・熊・猪などの野生生物の天国となるのだ。
- ④ 「森を守れ・自然を守れ・山を守れ」と叫ぶが、守るのは人である。都会のコンクリートジャングルで疲弊した年金生活者は、三河山地に山小屋を建て、あるいは廃屋を手入れして、体が自由に動ける間だけでも大自然の山中で暮らして見ることをお勧めする。
- ⑤ 間伐で健全な森を育てようと活動家が言う。しかし、彼らの立ち枯れ間伐には大反対である。昨今間伐手法の一つに樹木の肌を傷つけ、枯らす方法を推奨している。この方法は樹木の尊厳をまったく否定するやり方で、大切な樹木の命をゴミ扱い邪魔者扱いにするばかりでない。枯れ木はやがて倒木となり、大雨で谷や川に流され、流木となって堰(流木ダム湖)を造る。溢れた水は、河川堤防を越え、低地の田畠や住宅地を襲うのである。間伐材は有効な資源、山に放置するな、放置すれば災害発生の源となる。

次世代の後継者が育つまで、年金生活者が都会から山間地に移動して山間地の滋養を享受するのだ!  
異常気象の世紀、大雨土砂災害など大規模自然災害環境破壊を防止するのは年金生活者の役目なのである。

### ~ 炭酸ガス固化補助金を出して三河山地の林業経営を活性化し、温暖化に備えよう! ~

- ① 木造住宅のすすめ  
三河産木材を使用した木造住宅には、健康保険からアトピー対策補助金を、地球温暖化ガス固化助成金を環境庁から。また、外国から輸送する輸入材にはCO<sub>2</sub>税を課すなど、三河木材使用の特典政策を提唱する。平均的な木造住宅では約6トンの炭素を固定しているといわれている。
- ② 県は、県下の市町に緑地率を制定し、定めた緑化率を達成した市町にはその面積に応じた報奨金を、達成できない市町からは罰金を徴収する。これにより生物多様・地球温暖化対策事業の一つとしては、いかがでしょう。名古屋市など裸地が極めて少ない市町では、建築物を緑化する他、道路や公園、河川などの裸地に植樹するなど、市民総出の植樹緑化活動が必要である。

#### 一口メモ :狂牛病が流行した頃の流言

知恵者 A:「生物は同種族を食べると狂牛病のように発狂し絶滅するようだ、北京原人など世界各地の原人は食人の習性があったので絶滅したと違うか?人間から一番遠い種は菌類だから茸や納豆など発酵食品が健康に良い、動物性蛋白源は魚類が一番遠い、次に爬虫類の蛇やワニ、次に鳥類だ、四足動物は一番人類に近いから、鶏以外は食べるなど我が家のじい様から言われて育った。」  
おとぼけB:「そうかなー?鶏は二本足歩行だから先祖は人間と同類と違うか?あんたこの頃少しづけてきたのは鶏の祟りかも知れんぞ。」??

### 自給自足その3【子孫に誇る海洋牧場構想】

県内の水産物生産量は84,000トン、需要量は417,000トン、不足量は333,000トンと前号(No.14)で報告しました。

水産業も農業・林業と同じように、種を蒔き育て収穫する時代に突入しました。すでにサケ・鱒・鮎・海苔・アサリ・ブリ・マグロなど多種な魚介類の人工孵化技術、稚魚栽培技術が研究され、養殖した魚介類が市場で販売されています。

しかし、養殖物と天然物の市場価格には相当の開きが生じているのが現実です。

- 養 殖 物：成長するまで、人が管理して飼育した魚。生簀で餌を与えられ、時には投薬されて人工的に飼育された魚。
- 天 然 物：人の手で孵化され、外敵に捕食されない程度まで保育された稚魚であっても、放流されて自然の餌を捕食して成長した魚介類は天然物と見られる。
- 投薬の弊害：農産物も、除草剤を始めとする各種の農薬や遺伝子組み換え農産物などは市場から敬遠される傾向にあるのと同じように、魚介類も投薬されて育った海産物は敬遠され市場価格も低い傾向にある。

#### 海洋牧場の提案

愛知県には豊川・矢作川が流れ込む三河湾、庄内川・木曽川が流れ込む伊勢湾がある。この二つの湾を自然の生簀に見立て豊かな海洋牧場をつくることを提案する。

自慢の海洋牧場にするためには、愛知県全域の生活廃水・産業排水・農場排水の水質浄化を行うとともに、緑地を増やし、山間地から河口に至る環境を生物多様な環境に改善する。

三河湾海洋牧場・伊勢湾海洋牧場に注ぐ水は世界一清浄な水であることを宣言するには

- ① 汚染された物質は皆無であることを保障する。
- ② 豊かな三河山地で育まれた滋養豊かな水が注がれていることを保障する。

これが未来の子供たちに誇る愛知圏域の姿なのである。

⇒ このように生物多様性に富んだすばらしい環境の三河湾海洋牧場・伊勢湾海洋牧場を創造し、この牧場で魚介類を栽培するのが未来の食糧危機を救う方策と提唱する。

#### ～豊かな海洋牧場その1：三河湾海洋牧場～

渥美半島と知多半島で囲まれる三河湾は、幡豆町を境に西側の知多湾・東側の渥美湾に大別される。

##### 知多湾の16漁港

- ①大浜漁港 ②幌川漁港 ③寺津漁港 ④栄生漁港
- ⑤味沢漁港 ⑥一色漁港 ⑦衣崎漁港 ⑧佐久島漁港
- ⑨宮崎漁港 ⑩西幡豆漁港 ⑪河和漁港 ⑫豊浜漁港
- ⑬大井漁港 ⑭師崎漁港 ⑮日間賀漁港
- ⑯篠島漁港

##### 渥美湾の8漁港

- ①知柄漁港 ②形原漁港 ③三谷漁港 ④御馬漁港
- ⑤姫島漁港 ⑥宇津江漁港 ⑦伊川津漁港 ⑧福江漁港

##### 遠州灘の3漁港

- ①赤羽根漁港 ②高豊漁港 ③二川漁港

⇒ 今から約2万年前(縄文海進以前)の海水面は「-120m」と言われ、水深「13m」ほどの三河湾は大きな盆地であったのでしょう。

#### 1. 自慢の湾するために、知多湾に注ぐ33河川を「子孫」に誇る清流にしよう！

##### 西三河地内を流れる22河川

- 大府市地内：①皆瀬川 ②砂川 ③鞍流瀬川 ④石ヶ瀬川
- 東浦町地内：①岡田川 ②明徳寺川 ③豆搗川 ④須賀川
- 半田市地内：①稗田川
- 刈谷市地内：①境川 ②逢妻川 ③猿渡川 ④前川
- 高浜市地内：①高浜川 ②新川

- 碧南市内：①幌川
- 西尾市内：①矢作川 ②北浜川
- 一色町内：①矢作古川
- 吉良町内：①矢崎川
- 幡豆町内：①鳥羽川 ②八幡川

##### 知多半島を流れる11河川

- 半田市地内：①阿久比川 ②神戸川 ③石川 ④稗田川  
⑤十ヶ川
- 武豊町地内：①堀川 ②新川
- 美浜町地内：①布土川 ②新江川 ③大川
- 南知多町地内：①五宝川



知多半島の先端に点在する島々

##### 一口メモ：魚（イオ）の話し

魚は古代から大切な蛋白源として食べられてきた。魚の古語は、「イオ・イヲ」と呼ばれていたと思われ、アクセントの違いから「イヨ」・「ウオ」・「トト」などに変化しのでしょう。山奥の谷川には「イオドメ（魚止）」と呼ぶ自然の落差工（滝・岩壁）がある。昔から魚道に関心があつたことが伺われます。

#### 2. 美しい湾するために、渥美湾に注ぐ20河川を「子孫」に誇る清流にしよう！

##### 東三河地内を流れる13河川

- 蒲郡市地内：①捨石川 ②落合川 ③西田川 ④堺川
- 御津町地内：①柴川 ②御津川 ③音羽川
- 小坂井町地内：①佐奈川
- 豊橋市地内：①豊川 ②柳生川 ③梅田川 ④境川 ⑤紙田川

##### 渥美半島を流れる7河川

- 田原市地内：①幌川 ②汐川 ③今池川  
④今堀川 ⑤新堀川
- ⑥免々田川 ⑦天白川

#### 渥美半島 横断運河計画の提案

三河湾海洋牧場の赤潮対策と外洋航路運河をかねて、三河湾大橋の架かる幌川あたりに長さ4kmの運河の建設を提案する。豊川などの河川水の水質浄化とともに、運河から太平洋の新鮮な海水を湾内に入れ、三河湾出口の中山水道から外洋に出す、湾内海水の還流を図り、海流の淀みを解消することで、貧酸素障害の解消を提案する。

#### ～豊かな海洋牧場その2：伊勢湾海洋牧場～

昔は、知多半島と志摩半島で囲まれた伊勢湾には木曾三川が流れ込み桑名名物ハマグリなど豊かな干潟が形成されていた。貿易産業立国の立役者である名古屋港・中部国際空港、さらに「未来の子孫」のために、湾内の浄化と河川水の浄化を図り誇りの伊勢湾海洋牧場を創造したい。

##### 伊勢湾を漁場とする知多の7漁港

- ①大野漁港 ②鬼崎漁港 ③苅屋漁港 ④小鈴谷漁港  
⑤上野間漁港 ⑥内海漁港 ⑦豊浜漁港

#### 1. 素晴らしい湾するために、伊勢湾に注ぐ69河川を「子孫」に誇れる清流にしよう！

##### 濃尾平野を流れる2大河川

- ①揖斐川（長良川合流）②木曽川

##### 知多半島を下る9河川

- ①大田川 ②信濃川 ③横須賀新川 ④日長川  
⑤鍛冶屋川 ⑥矢田川 ⑦稻早川 ⑧山王川 ⑨内海川

##### 名古屋市内を流れ名古屋港に注ぐ9河川

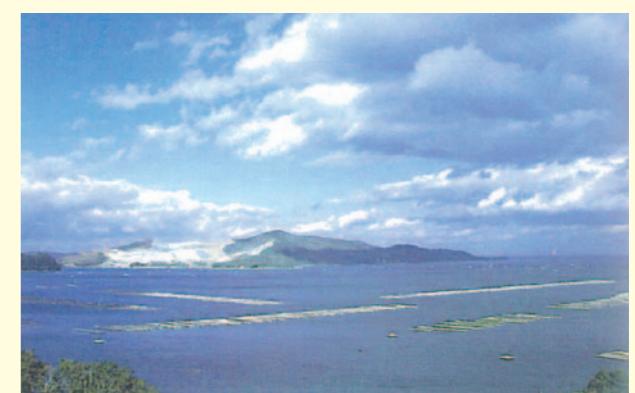
- ①日光川（善太川・蟹江川・小切戸川・福田川・戸田川・宝川・東小川）  
②新川 ③庄内川 ④中川運河 ⑤堀川（新堀川）  
⑥山崎川 ⑦大江川 ⑧天白川 ⑨土留木川

##### 三重県内から注ぐ49河川

- ①五十鈴川 ②宮川 ③祓川 ④櫛田川 ⑤雲出川  
⑥安濃川 ⑦鈴鹿川 ⑧三滝川 ⑨朝明川 ⑩員弁川  
⑪碧川 ⑫三渡川 ⑬百々川 ⑭阪内川 ⑮金剛川  
⑯中の川 その他33河川

#### 2. 伊勢湾出入り口の地形は自然の扉（要塞）である！

水深約30mの伊勢湾内から水深1千mの外洋への出入り口は、伊良湖水道と呼ぶ狭い航路である。志摩半島先端の鳥羽市側には菅島・答志島・浮島・牛島・板手島が浮かび、海底には多くの環礁が横たわっている。さらに出入り口の中央に神島が門番のように構えている。1千mの深さの熊野灘・遠州灘から、深さ30mの伊勢湾の出入り口は、魚類や船舶にとって要塞なのである。この伊勢湾の地形的特色を生かした魚介類飼育研究の成果を活かせる海洋牧場にするのが現代に生きる我々の責任である。



鳥羽とその離島

#### 次回の記載内容

次号からは、【住みよい町・心地よい町】をテーマに、種々の視点から県下を評価し、ランク付けを試みます。No.16号には【災害のない町】を視点に、県下市町村の歴史を探索し、昔から災害のない住みよい町をさがします。

執筆（ビジョン委員会顧問）  
磯貝 洋尚